



七色のかがやき

長崎市立虹が丘小学校 学校便りNo.3
令和6年 5月 9日(木)
編集・発行責任者 校長 池田敏典
E-mail e52nagasaki-city.ed.jp
G-mail nijigaoka@gmail.com

「心の味噌汁」

毎朝、校舎玄関横に立ち、登校してくる子どもたちを迎えていますと、微笑ましい姿にたくさん出会います。

少し離れているところであっても、私の姿を見ると、元気な声で「校長先生、おはようございます」と挨拶してくれる子どもたちがいます。中には、立ち止まって頭を下げながら挨拶をしてくれる子どもたちがいます。また、上級生と下級生が仲良く手をつないでいたり、友達同士で手をつないでいたり姿もあります。下級生の月金バッグを持ってあげている上級生の姿もあります。こうした子どもたちの姿に、毎朝、元気をもらっています。毎日、楽しいことばかりではないでしょう。それでも、子どもたちの屈託のない可愛い表情、姿に自分を省みることがたくさんあります。

話が変わるようですが、皆様の好みの食べ物は何でしょう。私は、数ある好物の中で一番を挙げるならば《味噌汁》です。きついことがあっても、嫌なことがあっても、あたたかい味噌汁をすすると、なぜか「ほっ」とします。

私たちが毎日を過ごしていくためには、持続する力が必要です。弾みとなるような何かが。私にとってのそれが味噌汁なのかもしれません。心が擦り減り、心のエネルギーが失われていくような出来事があると、微笑むことさえ出来なくなります。そんな時、子どもたちの可愛らしさに心を癒されます。味噌汁をすすった時のように「ほっ」とします。

子どもたちを見ていますと、上手に気分転換をしたり、気持ちを立て直したり…。きっと『心の味噌汁』があるのだらうと思います。子どもたちにとっての『心の味噌汁』。それは、温かい愛情に包まれた家庭・地域にあるのだらうと思います。

多くの人に見守られて

連休明けの火曜日(7日)、本年度2回目の集団下校を実施しました。今回の目的の一つは、「子どもたちを見守る家」として、日頃より、子どもたちの安全・安心に御協力いただいている地域の方々にお礼の手紙を届けることができました。併せて、「子どもたちを見守る家」の場所を確認し、いざという時に速やかに駆け込むことが出来るようにすることでした。

集団下校開始前に私は、子どもたちに次のような問いを投げかけました。

「みんなの安全・安心をつくっているのは誰でしょう。」

すると、子どもたちから、

「家族」、「地域の人たち」、「先生たち」、「自分たち」という答えが返ってきました。

四つとも見事に正解です。

当日は、学校サポーターの中尾さん、育友会代表の岩永さん、一年生の保護者の皆様に御協力いただき、無事に集団下校を実施することができました。御多用の中に時間を合わせていただきましたことに感謝申し上げます。



また、集団下校とは違いますが、本校164階段登り口に可愛いいのぼりが泳いでいたのを御存じだったかと思います。これも、虹が丘自治会長・柴田さんが上げてくださったものでした(毎年、ありがとうございます)。

子どもたちは、たくさんの人に見守られ、毎日を安全に、そして、安心して過ごすことが出来ています。まずは、このことに改めて気付くことが、とても大切です。

